

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-3981-4201

附属機関又は 会議体の名称	平成 25 年度 政策経営会議（第 11 回）	
事務局(担当課)	政策経営部企画課	
開催日時	平成 25 年 9 月 13 日（金） 午前 8 時 30 分～10 時 00 分	
開催場所	区長応接室	
議題	1. 新ホール客席数の変更について	
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第 7 条各号に掲げる非公開情報に該当する事項につ いて審議等を行うため。
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長・教育長・政策経営部長・総務部長・施設管理部長・ 企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長
	説明者	特命政策担当部長・現庁舎地活用担当課長・施設課長・施設計画課長・ 文化商工部長・生活産業課長・文化デザイン課長・拠点まちづくり担当課長
	事務局	企画課企画担当係長

審議経過

案件 1：新ホール客席数の変更について

(1) 案件の説明

現庁舎地に整備予定の新ホールの客席数を 1,200 席から 1,355 席に変更したい。合わせて区民センターと生活産業プラザをつなげ、区民センター内に 458 席の平土間ホールを整備したい。

(2) 主な意見と質疑

委員：建築単価の 54 万円というのは大丈夫なのか。

説明者：今後の検討で詰めていくが、現段階ではこのような数字を置いている。

教育長：資料では 1,355 席にしなければいけない理由をしっかりと書いて、1,355 席が妥当だと受け取ってもらえるような工夫が必要である。

説明者：今後設計が変わってくるかもしれない。50 億円で 1,355 席というのは優先される条件であるが、共有部分面積と合わせて 7,700 m²を超えないとあえて記載する必要はないのではないか。

説明者：専有部分面積の 6,000 m²もいらないということか。

説明者：優先される条件ではない。現時点での想定であり積算根拠であって条件ではない。

区長：50 億円の中には専有と共有も含むのか。

説明者：共有部分も含まれる。

区長：制約が多いと事業者の進出が難しいと聞いている。あまり踏み込みすぎると、これから事業者を公募する際大変である。

説明者：今後、プランが変更されていくなかで、7,700 m²が大事なのではなくて 1,355 席という興行に耐えうる環境を作っていくことが優先される条件だと思う。

説明者：1,200 席から 1,355 席になっても総面積としてはあまり変わらないから今回このような提案をするという説明の仕方もある。どうしても経費のことがでてくるので、そうした説明があったほうがいいと思っている。

区長：新ホールが全面に出すぎて事業者の開発意欲がそがれては困る。今は基本的なことだけを決めて、あまり固める必要はない。

説明者：公立ホールとして求められる鑑賞環境と興行利用をどうとらえたらいいのか。

説明者：3 階席でも舞台を隅々まで見渡せるという鑑賞の環境を公立ホールとして提供するのは大事であると考えている。演目については興行主とのすり合わせが必要であり、現時点での想定される演目は答えにくい。

委員：民間のホールでは舞台が見えない席が許されるということか。

説明者：立ち見席とかで料金に差をつける。見えづらい席を安価で提供する場合がある。

委員：説明を聴けばそうではないとわかるが、公立とつくと、ほどほどのレベルととらえられる。

説明者：当初、3 階席を造ると見えづらい席ができるということがあり、公立ホールとしてどうかというところから出発しているが、検討を重ねた結果、3 階席でも上質な席が確保できるという経緯があった。中庸的な意味合いとしてとられる可能性があるなら表現はせず。

教育長：公立ではなく上質なホールとしたらどうか。品質の高いホールとして、どこからでも鑑

賞の環境が確保されているという可能性の大きいホールであると受け止めてもらえるほうが交渉もしやすいと思う。

副区長：オペラ、バレエ、ミュージカルなどは出演者の人数が多いが大丈夫なのか。

説明者：そうした状況に耐えられるように進めている。

委員：現状の案について事業者の反応はどうか。

説明者：ホールについては区が決めることであり、正確に決めてもらったほうがやりやすいということである。

区長：区民センターのホールは平土間が売りである。サントリーホールが広さもほぼ同じであり参考になる。生活産業プラザと区民センターをつなげてどれだけ広がるのか。

説明者：ホワイエが生活産業プラザ側に造れるし、椅子の倉庫が確保できるため、その分広くなる。

区長：区民センター 1 階の駐車場は必要なのか。

説明者：搬入路として駐車スペースは必要である。

区長：生活産業プラザとつなげることで区民センターの駐車場をなくすことはできないのか。

説明者：生活産業プラザの駐車場は 16 台であり、附置義務は 10 台である。6 台分は減らせるが、荷捌き用に設置したい。

区長：葛飾区のシンフォニーホールを視察に行った際、A 館と B 館が渡り廊下でつながっており、幅が 5 m 位あった。屋根はつけられないが植木を配置しており、大変参考になる。色々な施設を調べて検討を進めてもらいたい。

(3) 結論

現庁舎地に整備予定の新ホールの客席数を 1,200 席から 1,355 席に変更し、合わせて区民センターと生活産業プラザをつなげ、区民センター内に 458 席の平土間ホールを整備する。

会議の結果	1. 新ホール客席数の変更について ⇒決定
提出された資料等	1. 新ホール客席数の変更について 豊島区民センター ホール検討案 新区民センター3階層利用案 現庁舎地の活用及び周辺整備について（抜粋）